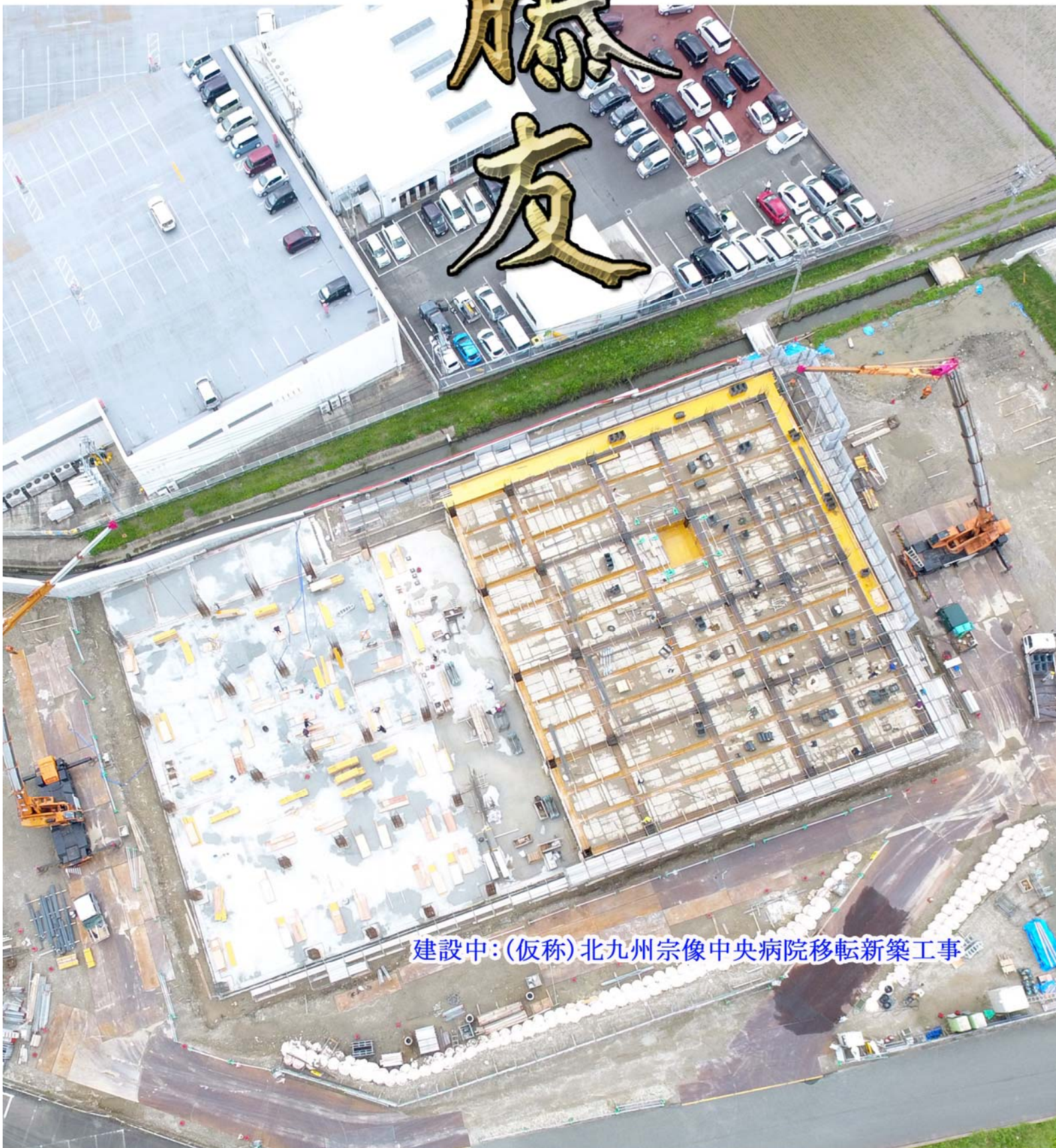


藤友



建設中:(仮称)北九州宗像中央病院移転新築工事

2018 夏号

No. 407



取締役会長 高藤昌和

物と心のバランス

戦前、戦中、戦後と生きて来て、最近感じることは、世の中も人の考え方も、価値観も大きく変わって来たことです。

戦前は「物欲」は卑しいものとされ、極端に「物欲」を抑える社会でした。

「渴しても盗泉の水は飲まず」とか「武士は食わねど高楊枝」とか、また童話にしても「舌切り雀」とか「花咲爺さん」とか欲張りを戒める童話が多かったように思います。

戦前、戦中と物のない時代。みんな貧しい時代でしたので、我慢出来たのです。それに戦争という試練を乗り越えるという共通の目的があり、「欲しがりません。勝つまでは。」という目的に向かって進んだからです。

「貧しきを憂えず、等しからざるを憂う」というように、すべてが貧しかった時代でした。そして、戦後今までの価値観がすべて否定されました。苦しい耐乏生活を強いられた我々は、物さえあれば、お金さえあれば、幸せな人生が送れると思ったのは、無理からぬものだったのです。

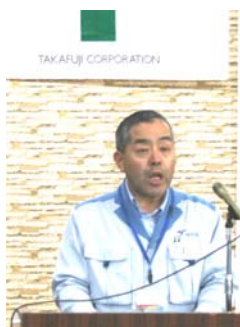
心や精神という内面的なものは、捨てられ、金と物という物欲中心主義へと、移って行きました。その結果、自分さえ良ければという考え方、飽くなき欲望は、自己中心主義、物欲中心主義と内なる精神主義の排除へと向かったのです。

人が生きて行くためには、お金や物は必要であり、大切なものです。しかし、それによって、心や精神の荒廃は絆の切断や連帯感の消失となり、住みにくい社会へとつながります。

「物」で栄えて「心」で滅びるということではなく、物と心のバランスを保って、たった一度の掛け替えのない大切な人生を、悔いなくありたいものです。



安全週間社長メッセージ



皆さんご安全に

「新たな視点で みつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」のスローガンのもと、今年も第91回を迎える安全週間が開催されました。

労働災害は、長期的には減少していますが、平成29年については、「死亡災害」が3年ぶり 休業4日以上「死傷災害」に至っては2年連続で、前年を上回る見込みです。

安全には、安易な妥協は許されません。少しの気の緩みが、取り返しのつかない事故に繋がります。

働く方一人一人が、かけがえのない存在であり、それぞれの事業場で一人の被災者も出さないという信念の下、従来から取り組んでいる安全活動に新たな視点を取り入れ、日々の努力を積み重ね労働災害防止に努めましょう。

「安全は、みんなの願い、みんなのしあわせ」

代表取締役 高藤元太郎

本社安全大会

平成30年度の安全大会を7月12日(木)に門司体育館で、社員・協力会の会員会社はじめ、現在施工中の現場に携わっている協力会社の皆さん合わせて75名が参加し開催しました。

安全表彰後の記念講話は、ダンサー・ヘルスアップナビゲーター・元気娘あやね様に、「みんなの元気が職場を明るくする・ケガなく事故なく疲れなく」と題して、参加者が実際にストレッチなど身体を動かしながら聴講者参加型の講話を頂きました。

最後に社員、協力会会員の代表による安全宣言で、参加者一同無事故無災害を誓い、シュプレヒコールで閉会しました。



【管理部 田中】

平成30年度 安全表彰受賞者

無災害現場

(株)七尾製菓曾根工場新築工事ほか781件工事

高藤建設株式会社

優良賞 建設部 長野 雄一

努力賞 建設部 國本 忠史
同 仲 信二

高藤建設安全衛生協力会の部

社長賞 (有) 元村建設 元村和男様

協力会 杉山鉄筋工業(有) 鹿毛直樹様

会長賞 西鉄電設工業(株) 岩佐禎彦様

(株)皆川工務店 樫元 学様



大阪支店安全大会

大阪支店では6月29日(金)に社員、協力会会員が参加し、最初に都島神社で安全祈願を行いました。その後大阪リバーサイドホテルへ場所を移し、安全大会を開催しました。

今回の安全表彰では、支店長賞に株式会社村井組様、支部長賞に橋本鋼材株式会社橋本様、平成29年度の無災害現場がそれぞれ受賞しました。

表彰式の後、今年は「交通安全講習」と題して都島警察署交通課佐藤係長を講師にお招きしました。

近年大阪府下での交通事故件数は減少しているが、重傷事故は増加傾向にあり、特に二輪車事故が多発しているという交通情勢の説明をうけ”従業員の交通事故と企業リスク”のDVD上映しました。最後に団扇やじゃんけんを使った反射神経を養うテストまで行って頂き、参加型のとても有意義な内容でした。

一つの事故で会社の信用問題になることを改めて考えるいい機会となり、一人ひとりが、会社を背負って会社の代表としてハンドルを握るという自覚を持って、今後とも交通安全、労働安全に努めていこうと思います。

【大阪支店 森田】



福岡支店安全大会

平成30年度安全大会を6月29日(金)に「新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」のスローガンのもと協力業者29社34名、社員23名合計57名が参加し、支店会議室で開催致しました。

開催に先立ち榎田神社で安全祈願を行い、支店会議室で行った安全表彰では、社員表彰の優秀賞に山平智也係長、支店長賞はISエンジニアリング株式会社福岡支店様、支部長賞に協力業者5名の方が個人表彰を受けました。

記念講演では三井住友海上火災保険株式会社福岡支店福岡第三支社の課長代理中村匡伸様に「建設業における労働安全衛生と労働契約法」について講話をしていただきました。

労働災害は、起きてからではなく早めの対策・対処が必要だと改めて実感致しました。社員、協力業者にとって有意義な講話となりました。

福岡支店は現在15年間、無事故、無災害が継続されています。

改めて協力業者の皆様と一体感をもって16年目の無事故、無災害に向け決意を新たにしました。

【福岡支店 千住】



宗像陸運セントラルデポセンター

発注者 宗像陸運株式会社 様
 設計監理 高藤建設(株)福岡支店一級建築士事務所
 工期 平成29年 5月 8日～平成30年 5月 15日
 規模 S造5階建 延床面積14,416.45㎡
 工事場所 福岡市



《完成して一言》

宗像陸運(株)様のお菓子専用の大型定温物流施設です。全出入庫口をドックシェルター、大型電動シャッターなどを北面に配置し、トラックの回送率と品質管理を重視した仕様です。

内部の方は、中央部分に荷役機器を配置し、荷置き場の有効活用と安全かつ早く・正確に荷崩しできる設計です。

設備仕様は、施主様の主要御荷物となるチョコ系のお菓子を完全管理するため全面に、断熱材を吹いており、区画別にて定温設備機器にて徹底した温度管理が出来ます。約1年という長期の工事ではありましたが、古賀社長をはじめ宗像陸運(株)社員様全員の御協力と御指導のおかげで無事、工期内に建物を引き渡すことが出来、感謝しております。



【福岡支店 安井】

只今建設中 (仮称)北九州宗像中央病院



設計監理: 株式会社 内藤建築事務所 様
 工期: 平成30年1月15日～平成31年6月30日
 規模: RC造地下1階地上6階建 延床面積12,281.56㎡

この病院の設計コンセプトは、病院様の想いを形にすると共に、患者・家族・スタッフそして、地域のコミュニティに根付くホスピタリティにあふれる病院づくりを目指しています。現場は、基礎工事が終わり、地下1階の躯体工事の最中で、来年初めには躯体工事を終了する予定となっています。

この工事は、設計事務所の方と病院様の各部門の方々を交え、外装・内装のデザインについての提案や使い勝手等について打合せをさせて頂きながら進めています。

来年6月末の無事竣工を目指し、スタッフ一同、努力してまいります。



【建設部 和田】

PQC発表大会（フェーズ2 現場部門）

平成30年5月25日、我が社の品質管理システムPQC（Paperless Quality Control）のフェーズ2（工事現場部門）の発表大会を開催しました。

今回は、平成30年4月までに完成した本支店の5現場が発表を行いました。

担当者が、お客様に品質の高い建物を提供し、ご満足頂く為に、それぞれの現場にそった工夫、改善を行った過程を説明しました。

この発表を通して、品質管理をはじめ安全管理、工程管理、原価管理について、最適な施工管理を実施している状況を確認できました。

審査結果、下記の現場が優秀賞として選出され表彰しました。

【管理部 萬田】



★優秀賞★ 日本通運（株） 荏田マルチロジセンター建設1期工事



今回、PQCフェーズ2発表会において「日本通運株式会社荏田マルチロジセンター建設1期工事」、「門司港運株式会社ひびき営業所新築工事」の2現場の発表をさせて頂き、優秀賞を受賞しました。誠にありがとうございました。

二つの現場共に、工期に余裕がなく、また施工品質に特に気を遣った現場でした。

今回は、次の創意工夫した点を発表させて頂きました。まず工程短縮・安全管理については、工事終盤に行う外構工事を先行させ、足場のない工法を採用しました。次に定温倉庫における結露対策については断熱材を通気部などに、もれがないように設置しました。また土間コンクリートの水量の管理や、打ち継ぎ部への対処など、精度の高い土間の品質管理に努めました。

それぞれ個性の違う現場でありましたが一貫して努めたのは固定観念にとらわれず斬新な発想をもち、将来予想されるクレーム要因を排除した建物づくりをテーマにアイデアを色々捻出してきました。

その積み重ねが優秀賞という高評価に繋がったのではないかと考えております。

今後も改良、改善に積極的に取り組み、時代のニーズに応じた顧客満足につながる技術向上に努めていきたいと思っております。

【建設部 松瀬】



新入社員自衛隊体験入隊研修

当社の新入社員5名は新人研修の一環として、今年も4月6日から3日間、小倉南区の陸上自衛隊小倉駐屯地隊内生活体験に参加しました。おもに集団行動での基本的な動作(号令での整列、行進)や体力測定、登山、生活規律(時間厳守の徹底)などを体験しました。



この生活体験は、規律が厳しく想像以上でしたが今後役に立つ経験でした。これから仕事をしていく上で、団結、規律を徹底することは、特に施工管理にとっては、大切なことなのでしっかりと実践してゆきたいと思います。



【建設部 丸田諒一】



規律を重視したこの生活体験はとても新鮮でした。また時間の配分をすることは、当たり前ですが、とても大切な事だと分かりました。時間配分を気を付けることでこれからの仕事の流れを良くしたいです。また体を鍛え丈夫な体で仕事を休まない様にしたいです。

【建設部 竹元龍輝】

この生活体験は、一人女子班に分かれて不安でしたが、班の女子と共に苦しい事を乗り越えることで、打ち解ける事が出来ました。これからの仕事では自分の役割をきちんとこなし、人の話をきちんと聞き、周りの状況に目を配り行動するようにしたいと思います。



【ADD室 坂本まどか】



ここでの生活は、普段の私の生活と全く違う貴重な体験でした。団体行動や規律やルールの必要性、社会とはどんな組織かを考えさせられる貴重な3日間でした。特にこれからは、安全のためにも、現場の皆さんと団結力を活用したいです。

【建設部 豊永隼也】

この生活体験の3日間は非常にきつかったですが、貴重な機会でした。これからは会社では規律を守り、団結力で団体行動に心がけます。またしっかりと現場を見渡し、自分達、職人さん達のケガがないよう安全第一に努めたいと思います。



【福岡支店 藤堂真志】

標語の部

- | | | | |
|------------|------------------------|------|-------|
| 1 位 | 安全も 報・連・相の 会話から | 大阪支店 | 林 年数 |
| 2 位 | 安全は いつもの事を 丁寧に | 管理部 | 萬田 恵一 |
| 3 位 | 焦らずに 一息入れて 安全確認 | ADD室 | 上原 和彦 |
| | 気を付けよ 続く無事故が 呼ぶ油断 | 福岡支店 | 川上 剛 |
| 佳作 | 見落とすな 小さなリスクを 再確認 | 大阪支店 | 古賀 忠司 |
| | 確かめる 心のゆとりが 事故ゼロに | 社員家族 | 座木 忠良 |
| | 安全は 基本動作と 危険予知 | 福岡支店 | 今井 雅人 |

ポスターの部



金賞 大阪支店 高本美由紀



銀賞 大阪支店 秋永孝博



銅賞 社長 高藤元太郎



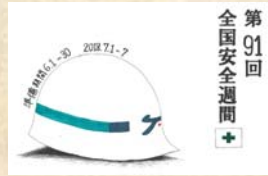
佳作 大阪支店 鶴原優

全国安全週間 作品

バッジの部



金賞 大阪支店 秋永孝博



銀賞 ADD室 坂本まどか

銅賞



事務センター 座木恵子



管理部 吉本宏子

入選



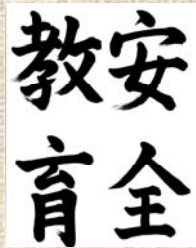
習字の部

中学校の部



天賞 家族 高藤啓太

一般の部



天賞 家族 瀧世希香



地賞 営業部 大江邦彦



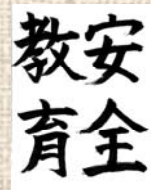
人賞 ADD室 坂本まどか

小学校高学年の部

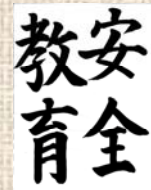


天賞 家族 高藤大空

入選



ADD室 加藤葉子

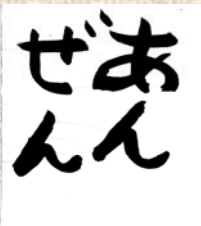


家族 高藤春紀



営業部 瀬戸健太郎

小学校低学年の部



天賞 家族 湯下萌音



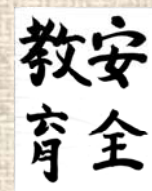
地賞 家族 高藤さくら



大阪支店 瀧 秀次



福岡支店 湯下憲二郎



家族 湯下 都

安全衛生協力会総会

6月7日(木)「下関グランドホテル」にて、平成30年度「高藤建設安全衛生協力会第50回定時総会」を開催しました。会員数50社、出席39社、委任状11社、規約第4章第13条2項過半数の出席をもって成立しました。

議案審議については次の通りです。



第1号議案	平成29年度事業報告
第2号議案	平成29年度決算報告 監査報告
第3号議案	役員改選
第4号議案	平成30年度事業計画審議
第5号議案	平成30年度予算審議

原案通り、満場一致で可決されました。

安全衛生協力会 新役員

会長	元村 春雄	有限会社元村建設	(造作工事)
副会長	瀬口 昇司	富士施工有限会社	(内装工事)
〃	鍋島 正憲	株式会社鍋島産業	(生コン・基礎工事)
理事	井上 真吾	有限会社井上板金加工所	(板金工事)
〃	渡邊 寛宣	株式会社野口商会	(電気工事)
〃	谷口 貴幸	株式会社常盤空調設備	(管工事)
〃	久能 潤二	久能組	(鳶土工事)
顧問	末永 武豊	末永商事株式会社	(タイル工事)
監事	野川 卓司	株式会社野川商会	(建築金物)

新しい会長の就任と、新役員でゼロ災を誓いました。



安全衛生協力会会長の就任あいさつ

平素におきましては協力会の安全衛生活動及びに労働災害防止の為に多大なるご尽力とご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、安全衛生協力会の会長職を拝命いたしました。若輩者ではございますがこれまで副会長を2期4年間務めさせてもらった経験を活かし、無事故無災害を目指して努力していく所存であります。



私たちを取り巻く環境は年々変化しています、とりわけ作業員の高齢化は無視できない問題ではないでしょうか。日々の健康管理や熱中症対策、無理のない工程管理等これまで以上に気を配らないと無理のある作業は重大事故につながる恐れがあります。

協力会として出来ることを考え、会員一丸となって行動していこうと思います。これからも会員の皆様方のご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

安全衛生協力会会長
元村 春雄

あれから40年

私が入社したのは昭和46年3月で、当時11名の同期が入社しました。あれから47年が経過した今では、私一人となってしまいました。

入社後新入社員研修、自衛隊体験入隊研修が終わり、最初に配属された現場は門司市民病院の現場でした。

当時は民間の工事より官庁工事の方が多かったと思います。

初めての現場管理で、知識も能力もなく、ましてや作業内容や人員配置の内容もまったくわからず、現場の先輩の一つひとつ指導して頂きながら仕事を覚えて行きました。今思えば現場での仕事ですべてにおいて新鮮で、いろんな面で勉強になったと思います。これもひとえに諸先輩の公私に渡る指導の賜物と感謝し、人生の基礎がこの時完成されたと思います。

この現場で最初に担当させてもらった工事は、煙突を建設する工事でした。最初は地中での基礎工事でしたが、基礎工事が終り、さらに進捗していくと地上での作業と変わり、一日1mずつ上に登ってゆきます。最終的には地上30mの高さとなり、あまりの高さに、タラップにしがみついたの工事管理となり、恐怖の毎日を送ったことを懐かしく思い出しました。

当時の本社建設部は現場職員が、現在よりも多く60名位いたと記憶しています。建設部は1～3部と別れた3部長制が一時取られていて、建設部の全員打合せ会議では、当時の3階大会議室すべてを使って会議をするほどの大所帯でした。

当時から今日まで社会情勢は、大変革し、オイルショックからバブル崩壊など、時代の流れが頻繁に変わり、現場管理も時代とともに変わって行ったと感じられます。

最後に多くの先人・先輩のご指導により今の自分があるのだとの思いで感謝に堪えません。今後は残りの人生にラストスパートして、楽しく人生のゴールにたどり着きたいと思います。



【CS部 丹羽】



別府の新入社員研修にて

夏の交通安全県民運動

今年も夏の交通安全県民運動が、7月10日から7月19日まで開催されました。

運動の重点項目の1点目は、子供と高齢者の交通事故防止です。横断歩道を通過する時は必ず歩行者優先を心がけましょう。2点目は飲酒運転の撲滅です。会合等へは公共交通機関を利用し、翌日の運転は控えましょう。3点目は自転車の安全利用です。自転車は基本的に車道を走り安全ルールを守りましょう。

以上の3点を遵守して交通安全に努めましょう。当社では、期間中毎朝の構内放送で啓発しています。

【管理部 田中】



編集後記

表紙の写真は、本誌4ページにも掲載しておりますが、今年の1月に着工し、来年6月に竣工する予定で、当社が施工させていただいております北九州病院様の（仮称）北九州宗像中央病院新築工事です。これは現在福津市あります津屋崎病院を宗像市へ移転する工事です。

移転場所は、この度世界遺産に指定された宗像関連遺産群の周辺で、JR赤間駅や市街地にほど近く、通院やお見舞いされる方に適したロケーションです。今回のこの工事は当社の代表的な建設工事となっております。

発行

高藤建設株式会社 高藤 元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社